



同窓会だより<号外>

江戸川総合人生大学同窓会

令和2年6月8日発行

<https://www.jinseidaigaku-dousoukai.net/>



当面の同窓会活動について

皆さんこんにちは。大変な日々が続きますが、いかがお過ごしでしょうか。通常であれば毎月クラス幹事会を開催し、また同窓会だよりやホームページなどで同窓会の様々な活動を会員の皆様にお伝えしていますが、今年はコロナ禍拡大を受けて、活動もほとんど休止せざるを得ない状況が続いています。

そこで最近の、また当面の同窓会活動について、同窓会だより号外に載せてお届けすることになった次第です。

1 基本姿勢

2019年末～2020年早々に始まった新型コロナウイルス感染症はあっという間に世界中に蔓延し、日本でも4月に緊急事態宣言が発せられる事態になりました。

不要不急の外出自粛や外出時の手洗い・マスク着用・社会的距離の確保など、これまでとは生活スタイルが一変し、日常生活に大きな影響が出たことはみなさまご経験のとおりです。

このような環境の下、同窓会としてどのような活動を行っていくかですが、

- ① ウィルス（COVID-19）の性質がまだ十分に分かっていない。
- ② 検査体制・ワクチンや治療薬を含む医療体制が十分整っていない。
- ③ 感染がいったん沈静化しても、二次感染・三次感染が諸外国や北海道等で起こっており、油断のならない、質の悪い性格と思われる。
- ④ 高齢者や既往症のある人は重症化しやすいとされており、特に注意が必要。
- ⑤ 収束まで長期戦が予想されている。

等々にかんがみ、同窓会としては「会員の健康を守る」、すなわち感染リスクを抑えること、を最優先に当面運営していきたいと考えています。

2 今期これまでの同窓会活動

3月11日に予定していた防災講演会は、感染騒ぎが拡大中であったため、中止しました。同窓会運営のため毎月開催しています、クラス幹事会や部会も、人と人との接触を避ける観点から、3月以降ほぼ休会し、クラブ活動も活動自粛をお願いしてきました。

多くの地域活動グループも、活動を休止して来られたと聞いております。

役員会と一部部会は情報共有と活動方針検討・ホームページなどによる会員あて告知作業の

ため、簡易なビデオ会議の仕組みを用い、密を避けて在宅で開催しました。

3 今後の同窓会活動

今後の活動については以下のように対応していきたいと考えています。

- (1) 行事やイベント：9月に予定していました恒例のバスツアーは、行先も決定済みでしたが、車内および昼食時などで密の状態となることが避けられないため中止します。大学祭は今年実施されないことになりました。その他の行事やイベントについては、今後都度ご案内致します。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の早期収束が難しい可能性も高いため、新しい生活スタイルを踏まえた、同窓会の新しい取り組みを検討していきたいと思えます。
- (3) 運営体制：休会していましたクラス幹事会や部会は、密を避ける運営体制を構築して再開したいと考えております。役員会同様ビデオ会議導入により、講義室での参加をできる限り少人数にしたいと考えています。ビデオ会議というと難しく思われる方もおられるかもしれませんが、スマホかパソコンとインターネット（Wi-Fi）があれば、お箸を使うより簡単です（たぶん）。
- (4) 今期計画事項等：前期から実施しています活動グループ特別支援金は、運営体制が整わず、準備が間に合わないため、応募を予定されていた活動グループには恐縮ながら、来期に繰り越します。同窓会改革委員会は立ち上がりましたが、継続開催が現状困難なため、来期継続的に実施することになります。

4 まとめ

ここまで申し上げた通り、今期は従来同様の運営が極めて困難な状況ですが、予想もできなかった感染症への対応として、初めに申し上げた通り「リスクをできるだけ避ける」姿勢が肝要かと思えますので、ご理解・ご協力のほどよろしく申し上げます。

こういう不安な世相においては、お互いの結びつきや助け合いがとても大切です。

江戸川総合人生大学同窓会のネットワークをいまこそ活用して、困難を乗り越えましょう。

いろいろなご意見・ご要望をお待ちしています。同窓会メール jinseidaidousou@yahoo.co.jp にご連絡ください。

江戸川総合人生大学同窓会
会長 前田 直義

江戸川総合人生大学は2020年3月より新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため休校とさせていただきます。その間の授業はすべて休講、様々な委員会も中止となってしまいました。活動の拠点としていた同窓会に置かれましても役員会およびクラス幹事会の中止など多くの方に影響を与える形となってしまいました。

本来であれば7月には新入生（第17期生）の募集や第15回江戸川総合人生大学祭など実施する予定でしたが、在校生の授業が最優先と考慮して新入生募集・イベント等は延期することにいたしました。

大学祭を心待ちにしていた皆様には誠に残念ですが、来年度さらに楽しい大学祭になるよう在校生と企画していきたいと思っております。

大学事務局はコロナ禍の中、新体制での運営を4月からスタートいたしました。

開学15周年の節目を迎え、これまで以上に魅力ある大学にするため職員一同精進してまいりますのでどうぞよろしくお願いいたします。



開学15周年ロゴ

江戸川総合人生大学 推進室

“感染症とボランティア”

今回の新型コロナウイルス感染症の件で、この3月からみまもり活動を含めて、全ての活動を残念ながら中止せざるを得ない状況となりました。

子どもから高齢者まで夢も希望も容赦なく奪い取る、憎きコロナの影響で普段の生活に支障が出ており、不自由な生活を多くの人々が送っています。

又、今のところワクチン、治療薬がない状況では、ただひたすら自粛生活でほとんどの人が我慢するしかない日々ではないでしょうか。

今は特に高齢者の方は外に出る事を控えて、自宅に閉じこもった状態の方が多いと思われま。我々江戸川みまもり隊は、毎月高齢者のお宅を訪問してのみまもり活動をしています。この3月から万一の事を考慮して訪問できず、皆様の体調等が心配でなりません。

そのため、時々電話での安否確認及び毎月のみまもり隊だよりの個別配付のみの活動をしています。

今は生きることが先決です。生きていればこの先何とかなる事を信じています。

1日でも早く通常の活動が出来る事を待ち望んでいます。

江戸川みまもり隊代表：伊久美 明

“えがおで ZOOM” 始めました！

3月から始まったお休み、遅くとも5月には再開できると踏んでいましたが見通しが立たない状況になりました。そこで急遽始めました「オンライン授業」、週1回・マンツーマン指導で生徒に呼びかけたら大人気！ 生徒はすんなり ZOOM に入ってきます、我々が使いこなせないことの方が問題ですがこれも経験です。まずは11名で始めました。慣れたら倍増が取り敢えずの目標です。暫く休んでいた生徒も是非にと連絡が来ます。教室を再開しても生徒を増やせない状況であり、教室とオンラインの2Wayもありかと思っています。

また、毎週開催している、ボランティア指導員の「オンライン飲み会」も打ち合わせを兼ねて盛り上がっています。いまさら新しいことを経験できるとは思っていませんでしたが、外出自粛の中結構忙しくしてくれています。



えがおで日本語サロン（一之江） 石井教文

この自粛生活・・・

不謹慎かもしれませんが、最初はちょっぴりお休み気分でしたのであまり深く考えず、「普段やれないことをやろう！」くらいに思っていました。しかし長年やってきたボランティア活動も、新しく挑戦し始めた事もみんな休止になってしまい・・・寂しかったです。

段々と今できる事をやろうと具体的に考え始めました。

自粛生活の時間をプラスにしようとその時は思えたのです。

無理な目標でなく達成できそうな目標、ゆっくり時間をかけて考え始めました。

そして体調管理だけは気をつけようと決め、ノートに書きました。

- ①体重を増やさない・・・あわよくば減量
- ②適度な運動・・・ストレッチ中心
- ③新メニュー挑戦・・・低糖質食材を使ってみる
- ④断捨離・・・エンディングノート書く

何とか達成できています。

この自粛生活の中、不自由やしんどい事もありましたが、生活自体はあまり変化がありませんでした。

あとは、心の持ちようが一番の課題でしたが、思ったより前向きに生活出来ていると思っています。

まだまだ緊急事態宣言が解除になっても、何かと制限される生活は続くと思いますので少しだけ自信になりました。

皆さん、体調にはくれぐれも気をつけて過ごしましょう！！

お会いできる日を楽しみにしています(*^_^*)

三密を避け、“音楽クラブの新しいスタイル”へのチャレンジ

「楽々倶楽部」は、ウクレレ演奏と歌を楽しむサークル、ウクレレは初心者にも簡単に覚えられ、可愛く親しみのある手軽な弦楽器です。赤ちゃんを抱くようにハート(心臓)の傍でやさしく構え、ポロン♪と奏でそれに併せて歌う。そんな寛いだ日々は、私たちのセカンドライフを大いに潤いのあるものにしてくれます。メンバーのほとんどはウクレレ初心者でしたが、定期レッスンを通じて音楽の基礎や楽しみ方を指導してきました。楽しさに嵌った皆の熟達度は素晴らしく、一年足らずで江戸川熟年文化祭のステージで初パフォーマンスを披露することができました。

この経験によってメンバーの向上熱はさらにヒートアップ、更なる活動へとギアを上げようとした矢先に「コロナ騒動」となりました。現在は「三密」となる集合練習は休止中で、心ひとつに肩寄せ合って歌い演奏する楽々倶楽部本来の楽しさは、離ればなれの自粛生活によって奪われてしまいました。

幸いこれまでグループメールやLINEグループをメンバー間の情報交換に使ってきたので、皆が集まらない状況でのウクレレ指導にこれらSNSの活用を試みています。これまで数回LINEビデオ会議を開催し、画像と音を互いに活用するレッスンを行いました。さすがに参加者全員での合奏はタイムラグがあって難しいのですが、指導側の音付き画像を見せることやメンバーへの直接指導はできており、更に安定したPCビデオ指導にZoomの活用も視野に入りたいと考えています。このビデオ指導は、コロナ禍が収まり集合練習ができるようになってからも補講や個人レッスンに活用できると思います。

高齢者になってからの楽器習得、さらにSNS利用などの新しいことへのチャレンジは、変わらぬ若さを保つ良薬になると信じ、これからもメンバーの皆と一緒に頑張っています。

楽々倶楽部：音楽リーダー 飯塚精一

コロナでわかる同窓生のありがたさ

コロナ緊急宣言で、週3回通っていたスポーツジムが4月早々から全面休館し、閲覧だけ休止していた区立図書館は、本の貸出さえも打ち切りとなってしまいました。やることを一つ一つうばわれ、外出は自粛、家に閉じこもるうつうつとした日々がつづきました。

国際13期では、同窓生Mさんの店を借りて、『みちくさ会』と名づけた親睦会を毎月開いていますが、これも、「3密」を避けて3月から「自粛」です。それに代わって、メーリングリストのやりとりが活発になりました。やはり同期の仲間たちも同じような気分らしく、伝えられる近況報告も、大好きな海釣りに遠出できないとぼやくKさん、バンド仲間とライブも開けないと叫ぶIさんなど、八方ふさがりの嘆きの声ばかりです。

でも何とか楽しくすごそうと、明るい話題もたくさん送られてきます。コロナ予防の耳よりの情報もありました。あるときは、散歩の話でひとしきり盛り上がりました。みなさんウォーキングやサイクリングに励んでいるようで、おすすめのコースを紹介してくれたり、吉良上野介や勝海舟、はたまた鼠小僧次郎吉らの歴史を訪ねて、両国まで歩く話も出ました。これに刺激され、天気の良い午後、わたしもしっかりとマスクをつけて、まずは自宅周辺から歩いてみることにしました。

春から夏へと変わるこの時期、街角は色とりどりの花と新緑にあふれ、コロナを吹き飛ばす清々しきです。江戸川区にはかつての用水路を整備した親水道路があちこちにあり、それぞれの水路にはきちんと名前もつけられ、花咲く水辺をたどれば自然と足も伸びました。浅間神社や鹿島神社、^{ようごう}影向のマツで知られる善養寺などに立ち寄って、ゆっくりと時間をかけて門前に記された寺社の歴史を読むと、へえそうだったのかなどと思わずうなずいてしまいました。

何とはなしに通り過ぎていたご近所を、一步踏み込んでじっくり歩いてみれば、住み慣れた街の今まで知らなかった魅力が見えてきます。ご利益とは決して言えませんが、これもコロナ様のおかげだと思うと少しは気持ちも前向きになれました。

それに何より、こんなときでも辛さを共有できる同窓生がいるありがたさを、コロナ騒動を通してしみじみと感じた次第です。また『みちくさ会』で口角泡を飛ばしてしゃべり、大きな口を開けて歌い、笑いあえる日が来ると信じて、窮屈な日々を明るく楽しく過ごしたいと思います。

国際コミュニティ学科13期 黒田 健司

“私の自粛生活”

緊急事態宣言という長いトンネルを抜け、ようやく解除という出口が見えてきました。気持ち的には少しほっとした気分です。しかし、まだまだ気を緩めてはいけません。

思い返せば、4月7日に新型コロナウイルスの感染拡大防止による緊急事態宣言が発せられ、その日を境に自粛生活を余儀なくされました。

初めのうちは、自分が関わってきた地域活動、ボランティア活動、私的なお稽古事等々、全てが中止、休止、延期。感染防止に気を付けながらも「さー、私はこれからどうしたら良いの？」と少し不安を抱きながら過ごしていました。

暫くすると、所属する活動グループや仲間から、ZOOMやLINEのグループビデオ通話で「ミーティングをしましょう」「オンライン飲み会しましょう」同様に「リモートレッスンをしましょう」などと画面上ですが、皆と顔を合わせながらのミーティングやレッスンが始まりました。

外出できず、家のベランダから撮影したスーパームーンの写真をグループLINEに載せて「まち歩き写真クラブ」の仲間に見てもらったり、合唱グループ「フリーズ」で歌っている歌を、家で歌ってみたりなど、自分なりに家でできる楽しみを見つけ「STAY HOME」することができました。

落ち込みかけた自粛生活の中で、新たな発見や楽しさを見出し、今までとは違った新たな生活の仕方が見えてきたような気がします。

まだまだ新型コロナウイルスとの戦いは続きます。

新しい生活様式、これが「新しい日常」と捉え、前向きに過ごしていきたいと思います。

江戸川まちづくり学科8期 大塚 恭子